

ソーシャルメディアとシミュレーション研究部会

主査：太田敏澄（電気通信大学）

幹事：田中宏和（静岡大学）

幹事：諏訪博彦（電気通信大学）

1. 研究部会の目的

本研究部会では、ソーシャルメディアやそれを活用したシミュレーションに着目し、新たなコミュニケーションの有効性やシミュレーションの可能性などについて、概念的、理論的、方策的研究に取り組むこととしている。ソーシャルメディアは、インターネットの利用者がインターネット上のサイトに情報や知識を直接的に、また相互に受信すること、問題を顕在化させたり、利用者の問題解決を支援したりしているメディアである。

このメディアは、最近では、改正公職選挙法の2013年4月19日成立に伴い、2013年夏の参院選から、政党や候補者が、選挙期間中にフェイスブック、ツイッター等のソーシャルメディアを利用して、自らの考えを有権者にリアルタイムで発信できるメディアとなっている。また、地域のコミュニティや企業組織における新たなコミュニケーションの形態として期待されていたり、口コミ情報としてマーケティングで活用されたりしているメディアでもある。

インターネット上のサイトに発信された情報や知識は、電子的に蓄積されており、その内容、発信者や受信者間の相互作用系などを対象として、マイニングやネットワークの分析などを行うことができる。この分析の結果は、新たなコミュニケーションや知識創造の可能性の探求はもとより、この方法論の一つとしてのシミュレーションによる研究における基盤として活用できる。

ソーシャルメディアやそれを活用したシミュレーションには、多くの可能性が開かれている。本研究部会は、この可能性の解明に向け、一助となることを企図している。

2. 研究部会設立の経緯

本研究部会に先行する「社会情報と情報ネットワーク」研究部会において、研究部会メンバーは、ソーシャルメディアをテーマとして、2011年1月21日に第17回社会情報システム学シンポジウムを共催し、同学術講演論文集（ISSN：1882-9473）を刊行した。このシンポジウムでは、特別講演1件、公募による研究発表28件で、64名の参加者があり、このテーマの意義や重要性を認識するに至った。なお、同研究部会は、平成20～22年度の間、第15～17回社会情報システム学シンポジウム学術講演論文集を刊行し、この分野での研究活動に取り組んできた。

国際的には、研究部会メンバーは、2012年1月4～7日にMauiで開催されたHICSS45 (Hawaii International Conference on System Sciences 45, Maui, Hawaii)において、コーディネータとして、Minitrack “Social Media in Social Informatics”を開催した。このMinitrackの開催では、研究発表論文を公募し、応募論文査読の運営を図り、応募論文19件の中から9件の論文を採択した。また、開催当日、座長を担当し、三つのセッションで計9件の査読つき予稿集論文に基づく研究発表およびForumの運営を行った。このMinitrackでは、世界的な先端的研究成果に基づく議論を行うことができ、この領域の研究を国内でも活発にするべきであるという認識を持つに至った。

3. 研究部会の活動内容

ソーシャルメディアやシミュレーションに関連の深いテーマを設け、第19回および第20回社会情報システム学シンポジウムを共催する予定である。このシンポジウムでは、特別講演や公募による先端

的な研究発表を行い、この領域の知見の結集および共有を図る予定である。また、それぞれのシンポジウムでは、社会情報システム学シンポジウム学術講演論文集 (ISSN: 1882-9473) を刊行する予定である。なお、第19回社会情報システム学シンポジウムは、2013年1月23日にソーシャルメディアとビッグデータをテーマとして開催し、第19回社会情報システム学シンポジウム学術講演論文集を刊行した。

研究発表大会で研究部会での研究発表を行う予定である。2013年春季全国研究発表大会（慶応大学）では、2013年6月29日に研究部会での研究発表を予定している。2012年秋季全国研究発表大会（金沢星稜大学）では、既に2012年11月18日に研究部会での研究発表を行った。

国際的には、研究部会メンバーが、2012年9月4～7日に台北で開催された4th World Congress on Social Simulation (WCSS2012)におけるワークショップ Workshop on Social Media and Simulation

in Social Informatics を開催した。このワークショップでは、社会情報学とソーシャルメディア、社会シミュレーションに関する研究発表と討論が行われた。この国際会議には、全世界から100名を超える研究者が参加したが、このワークショップは同会議への貢献が大きいものと評価された。今後も、国際会議でのワークショップなどの開催を目指す。

最後に、第20回社会情報システム学シンポジウムは、2014年2月の開催を予定している。2013年9月には、本学会メールマガジンにて、ご案内を予定している。学会員の皆さまをはじめ、多くのご関心の方々のご研究発表やご参加をお待ちしている次第である。

研究部会連絡先

連絡先：主査：太田敏澄

電子メールアドレス：tohta@aqua.ocn.ne.jp